



雪子 月野小雪

役者を仕事としている雨宮雪子を演じている私は、彼女のことをとても羨ましく感じている。御年 50 数歳、「芝居一筋」に演技を追及してきた女性であろう。どんな役にも全力で取り組み、幾多の挫折味わい、悔しさに流した涙も数知れず。それもこれもみんなあの舞台でスポットライトを浴びることを目指し、笑顔で乗り越えてきた。そして今、主役を張れる女優になった。しかしその影で何か空しい。「今、私、本当に後悔してる」。何を後悔するのか。愛する人との幸せな家庭や、子供を育くむという、当たり前過ぎる時間を逃したことを、か。雪子さん、あなたを羨む女性は沢山いますよ。これからも演出家を悩ます演技をしてください。いつまでも輝いてくださいね。

婦長 hiromi



看護大学を出て 20 年、いつか結婚できると信じて愛し続けた山下が樹和子と結婚してしまう。登場人物の中で唯一幸せにならなかった女、婦長遠藤綾子を演じます。登場場面は短いですが、狂おしい程の憎しみと悲しみの入り交じった怒りを短時間の中で表現する、とても難しい役です。「役者は人間の宝石」「観る人の魂を揺さぶり感動を与えることのできる役者こそが、光輝く“人間の宝石”と言われる所以でしょう」(野中マリ子)
一人では経験できない様々な人生を生きることができるお芝居が大好きです。私達の表現が、観てくださった方の心に、少しでも感動を与えることができたとしたら、それはとても幸せです。



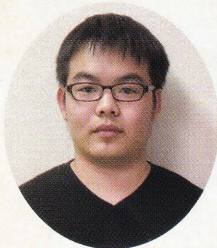
美帆 上田 明日夏

縁あって、ハロー山梨演劇塾 Ya Ya Ya 『源蔵の恋』に出演させていただくことになりました。演劇初心者の私にとって、演じるということは難しく、今回の稽古が始まってから今日まで、苦悩、そして自分との戦いの日々でした。苦しくて、苦しくて……。でも自分が少しでも変わったと思うと嬉しくて……。いろんなことがありましたが、苦楽を共にした仲間たちと、笑顔で今日この日を迎えることができました。本日ご来場くださった皆様、ここまで一緒に頑張ってきた役者の皆様、支えてくださったスタッフの皆様、全ての方々に感謝です。

正広 伊藤 樹 (劇団十三番創庫)



今回初めてハロー山梨さんの舞台をやらせていただきました。ゲイの役。大学生になって演劇を始めた身ですが、初めてやるような役で、またベテランの方々と共に出演するのも初めてのことで、今回は初めてのことばかりでした。刺激的な日々で、練習も楽しませていただきました。台詞は少ないですが、多くのことを学ばせていただきました。今回、この舞台に関わらせていただくことができ、感謝しております。
今回観ていただく人全員にゲイだと思っていただけるようなゲイを演じていきたいです。



卓也 勝亦 尚夢 (劇団十三番創庫)

私は、高校に入学した時から演劇を始めて今回社会人演劇初参加となります。高校の時の先輩からのお誘いで今回参加させていただくことになりました。今まで同じ年代の人達との演劇しかやってこなかった私にとって今回の劇はとても勉強になりました。また、高校時代は無料公演が多く、お金の重みを感じる機会にもなりました。高校時代はほとんど裏方専門だったので稽古の際にはダメ出しが多く何度も心が折れました。しかしその度に周りの人に支えられてここまでやって来ました。そんな中で迎えた今回の劇。精一杯頑張りますのでお楽しみください。

貴史 中尾 宏行 (劇団十三番創庫)



こういったことは初めてなものですから、拙い文章となります。(笑) 出身は静岡ですが、高校時代から演劇を始めていまして、現在山梨大学に入学し山梨に移り住んでからも演劇を続けているといった具合です。山梨大学内にあります劇団十三番創庫で活動しています。ハロー山梨はある演劇祭で一回拝見したことがあり、脚本の奥ゆかしさ、荘厳さに感涙したことを覚えています。今回藤谷さんの演出を肌にかんじ、藤谷さんの人生の重みといいますか、なかなか若輩者の私には理解が難しいことも多く、それ故に苦しいことも多かったのですが、素晴らしい経験になるとおもっております。「愛」についてこんなに考えることもなかったですね・・・頑張ります！

稽古場風景





ゆりかもめ

作詩 藤谷 清六

作曲・唄 チャイルドフッド

ある雨の日に 愛する人を求めて

懐かしい人に 逢いたくて

あの太い腕に 抱いて欲しい

小さな優しい目を

もう一度みたいから

ゆりかもめに乗って

ゆりかもめに乗って

戻って来たの

十人十色

制作 松永 博美

ここ近年の公演『アガペーの女』『春琴抄逆張り』『歌舞伎町のマリア様』は少人数の役者で公演してきました。今回の『源蔵の恋』はキャストも多く、とても大変だなあと感じていました。人が増えれば色々な意見も出てきます。それぞれ価値観が違う人々を、まとめようとすればするほど時に負の連鎖が起こります。ひとつのグループがまとまるには、エゴを抑え、いかにして思いやりを持つか、グループに貢献出来ることは何か？個々の言動が鍵になります。それをバックアップすることも制作の仕事、そしてそれを評価して下さるのが観客の皆様だと思います。本日は全員がひとつになる瞬間をお楽しみ下さい。

トンネルの向こうに

宣伝デザイン 山中 みゆき

若き創作活動家・関根悠一郎さんの原画をモチーフに、ハロー山梨演劇塾 YaYaYa のチラシ・ポスターなど宣伝物の制作をさせていただいております。今回のパンフレットは、恐れ多くも悠さんの描き下ろしイラストを自由に二次創作してもよしというお許しをいただいてデザインさせていただきました。一心不乱に走り続ける「豚ねる座」の人々を乗せた豚さん列車は、一体何を目指して、どこへ向かって行くのか・・・泣いて笑って珍道中。出口に希望の灯はあるのでしょうか。本日、甲府桜座という駅で乗り合わせたのも何かのご縁。乗客の皆さま、藤谷ワールドの旅を心置きなく、お楽しみください！！

プロデューサーから一言

プロデューサー 山本真樹

初めに、東京から毎週日曜日あずさに乗って無遅刻無欠席で稽古に通って下さった湯澤紀保先生に心からの感謝と敬意を表します。そしてシェイクスピアの悲劇に合わせて、薩摩琵琶の演奏をして下さった清水えみこさん、並びにゆりかもめの唄の作曲・演奏のチャイルドフッドの皆さん、そして三味線と都々逸を指導して下さいました藤本純秀先生にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

今回の『源蔵の恋』は10年前に藤谷清六が小説風に書き下ろした戯曲を桜座で上演可能な台本に書き直した作品です。台本を読んで「これは極めて難しい芝居だなあ」と思いました。稽古に少しでも多くの時間が必要だと考えて3月から週2回の稽古を続けて参りました。毎度のことながら、11名の出演者のうち7名はプロデューサーの私にとって初めての人たちでしたので、気心が知れ、気脈が通じるまでに数ヶ月の時間が必要でした。お芝居の公演には、強力なチームワークが必要です。全員が自己犠牲を覚悟して献身的に働かなければなりません。そのことを教育する暇はありません。裏方も含め自ら努力して様々な不公平を乗り越え、チーム一丸とならなければ初日の幕は開きません。この度、曲がりなりにも全員がサッカー選手のようなチームワークを作り今日を迎えることができました。

ご来場の皆様、どうぞぜひゆっくりとお楽しみ下さい。最後になりましたが、このプログラムに素晴らしい文章をお寄せ下さった、浜崎紘一先生、坂本玲子先生、古屋久昭先生に心からの御礼を申し上げます。ありがとうございました。

ハロー山梨演劇塾「YaYaYa」作品録

1. 極楽岩恋歌(映画)/2004年県立文学館
2. 眠れない赤鬼(映画)/2005年県立文学館
3. 愛妻物語/2006年9月県立文学館
4. 平成龍宮事情/2006年10月県立文学館
5. 揺籃/2007年6月甲府桜座
6. 翔べない二人/2007年12月県立文学館
7. 基板/2008年12月甲府桜座
8. へらずの酒/2009年8月甲府桜座
9. 難破船の仔羊たち/2010年8月県民文化ホール
10. ビバリーヒルズの紋白蝶/2011年10月県立文学館
11. 世にも不思議な二つの物語/2012年8月双葉ふれあい文化館
A『天才たちの午後』 B『カラスの群れと駱駝たち』
12. オウバアキル/2013年8月甲府桜座
13. 翔べない二人(再演)/2014年6月甲府桜座
14. お寶銭で……今夜は焼き肉ねっ!/2014年11月甲府桜座
15. 純愛幼稚園/2015年10月甲府桜座
16. アガペーの女/2016年5月甲府コットンクラブ 2F Blue Moon・
6月シアターガイア・7月小菅村体育館・10月貢川進徳幼稚園
17. 春琴抄逆張り/2017年6月甲斐善光寺・7月甲府桜座
18. 歌舞伎町のマリア様/2017年10月甲府桜座